

お客さま応援運動「とうほうマルシェ」の運用開始について (当行役職員によるお取引先の商品購買運動)

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた地元のお取引先を消費者の立場から応援するため、当行役職員が地元の商品を購入する取組みを「お客さま応援運動」として、全行を挙げて展開いたしますのでお知らせいたします。

本運動は、地域金融機関として地元経済を元気にしたい、お取引先のお役に立ちたいとの思いから企画いたしました。各営業店お薦めのお取引先の商品情報を新設した行内のデータベース「とうほうマルシェ」に登録することで、全役職員が商品情報を閲覧・購入できる仕組みとなっています。

当行では、引き続き、地域や事業者さまに寄り添い、様々なお悩みにお応えできるよう、役職員一丸となり取り組んでまいります。

記

1. 実施目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、日頃当行をご愛顧いただいている事業者さまの多くも大変厳しい状況が続いており、当行の役職員が率先してお取引先の商品を積極的に購入し、消費購買面からお取引先の事業回復（売上）を応援いたします。

2. 概要

名 称	お客さま応援運動「とうほうマルシェ」
運動期間	2020年10月から2021年3月末まで「お客さま応援運動」として展開
内 容	・各営業店のお取引先の商品情報をお薦めコメントとともに「とうほうマルシェ（行内データベース）」に登録。 ・全店で商品情報を閲覧し、購入することができる。
掲載商品	各営業店がお薦めするお取引先の商品（食品や地酒の他、一般消費者向け商品全般）
購 入 者	当行役職員

以上

商品購入、取引先を応援

東邦銀行員が販促活動

東邦銀行は月から、新型コロナウイルスの影響を受けている取引先の商品を、行員らが購入して応援する運動を始めた。行員が閲覧できるグループウェアのシステムを活用し、子会社を含む全ての役員員約3千人を対象に販売促進を図る。グループウェアにデータベースと「とうほうマルシェ」を新設し、各営業店が推薦

する取引先の食品や地酒などの商品情報を掲載。行員らに購入を呼び掛け、取引先の売り上げ回復を後押しする。商品の評価や感想を入力できる機能も設け、今後の商品改良・開発に関する助言などにも役立てる。

商品情報の掲載は和菓子店の丹波家柿羊羹本舗（郡山市）が第1号となった。

同社は新型コロナウイルスの影響で売り上げが激減しており、「応援に勇気をもらった。」



応援活動の掲載商品を手にする（左から）佐藤さん、正雄社長、千寛さん

下ばかり向かず、商品開発や販路開拓などに取り組みたい」とした。同社の平栗正雄社長とフードコーディネーター平栗千寛さん、推薦した本宮支店の佐藤大樹さんが商品を紹介した。運動期間は来年3月末まで。